

愛知県感染防止対策協力金【営業時間短縮要請枠】（10/1～10/17 実施分）

よくある質問 （2021年11月17日版）

1. 協力金の概要

1-1. 要請の期間はいつですか。

→10月1日(金)から10月17日(日)までの17日間です。

1-2. どのような事業者がどのような要請に協力すると協力金の対象となるのですか。

→対象となる事業者は、以下の飲食店等※1を運営する事業者です。

また、要請内容は対象事業者によって異なります。以下の表をご確認ください。

なお、「安全・安心宣言施設」に登録していた事業者が、対象期間中に「あいスタ認証」を受けた場合、要請内容が切り替わります。

対象事業者	営業時間の短縮要請内容と主な要件
県の「ニューあいちスタンダード（あいスタ）」の認証店※1 かつ、従前より午前5時～午後9時の時間帯を越えて営業している	【要請内容】 営業時間短縮午前5時～午後9時 酒類の提供※2は午前11時～午後8時 【主な要件】 <ul style="list-style-type: none"> ・業種別ガイドラインの遵守 ・カラオケ設備の利用自粛（カラオケボックスを除く） ・「あいスタ」の認証 ・認証ステッカーの掲示
あいスタ認証を受けていない店※1 かつ、従前より午前5時～午後8時の時間帯を越えて営業している	【要請内容】 営業時間短縮午前5時～午後8時 酒類の提供※2は午前11時～午後7時30分 【主な要件】 <ul style="list-style-type: none"> ・業種別ガイドラインの遵守 ・カラオケ設備の利用自粛（カラオケボックスを除く） ・「安全・安心宣言施設」への登録 ・PRステッカーとポスターの掲示

※1 飲食店営業許可又は喫茶店営業許可が必要

※2 「酒類の提供」には、酒類の持込みを含む

1-3. 協力金の交付に必要な要件は何ですか。

→営業時間短縮要請に応じていただいたうえで、以下の要件を満たす必要があります。

○業種別ガイドラインの遵守

○県の「ニューあいちスタンダード（あいスタ）」の認証を受け、認証ステッカーを掲示、又は県の「安全・安心宣言施設」に登録し、PRステッカーとポスターの掲示

○カラオケ設備の利用自粛（カラオケボックスを除く）

なお、今後、飲食店の協力金支給申請には「あいスタ認証」を受けていることが要件となる予定です。

1-4. 業種別ガイドラインとは何ですか。

→自主的な感染防止のための取組を進めるため、関係団体等により、業種ごとに策定されたガイドラインです。自身の業種に沿ったガイドラインの遵守をお願いします。

ガイドラインの一覧は、以下の内閣官房のウェブサイトをご覧ください。

内閣官房ウェブサイト「業種別ガイドラインについて」

<https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf>

【飲食店関係のガイドラインの例】

- ・「外食業の事業継続のためのガイドライン」
- ・「社交飲食業における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
- ・「オーセンティックバーにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
- ・「カラオケボックス等の歌唱を伴う飲食の場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

1-5. カラオケ設備の利用自粛とはどういうことですか。

→営業時間内において、全面的にカラオケ設備の利用を自粛いただくことです。よって、カラオケ設備の利用時間を短縮した場合は対象となりません。

1-6. 協力金の申請はいつから始まりますか。

→2021年10月25日(月)から ~~12月13日(月)~~ 12月24日(金)まで（郵送の場合は当日消印有効）です。（※申請期間を延長しました）

申請期限を過ぎた申請は、受け付けることはできません。

1-7. 申請書はどこで入手できますか。

→申請サポートサイトからダウンロードできます。また、各県民事務所、市区町村窓口及び商工会・商工会議所などに設置してあります。

1-8. どのような申請方法がありますか。

→以下、3種類の申請方法があります。

① 電子申請

申請サポートサイトで必要事項の入力と提出書類のアップロードをして申請する方式です。

② WEB申請書作成/郵送申請

申請サポートサイトで必要事項を入力して自動作成された申請書を印刷の上、提出書類と併せて郵送で提出する方式です。

③ 手書き/郵送申請

申請書様式に必要事項を記入し、提出書類と併せて郵送で提出する方式です。

1-9. 申請から交付までにはどれくらいかかりますか。

→審査完了後、適当と認められた場合に指定口座に振り込みます。

支払の時期は、適切な申請書の受理後、1か月程度を予定していますが、申請の状況により変動することがあります。

2. 事業主体について

2-1. 愛知県内に店舗がありますが、本社は京都府です。当協力金の対象となりますか。

→愛知県内に対象施設を有する事業者であれば、法人の本社所在地は問いません。

また、個人事業主についても、愛知県内に対象施設を有する事業者であれば事業主の住所は問いません。

2-2. 要請期間中に閉店しましたが、協力金を申請することはできませんか。

→営業時間短縮要請期間中に閉店しても、交付申請日及び交付決定日において倒産、廃業していなければ申請を行うことができます。

なお、交付対象日数は閉店前の期間において営業時間短縮等を実施した日数となります。

2-3. 業務委託契約により受託者が店舗を運営している場合はどちらが交付対象となりますか。

→協力金は、1つの施設につき1交付となります。重複申請防止のためにも委託者と受託者（例：店長とオーナー）どちらが申請するか、相談の上、申請してください。

3. 対象となる施設の種類の種類と営業形態について

3-1. キッチンカーや露店でテイクアウトの飲食業を行っている場合は、協力金の交付対象となりますか。

→テイクアウトのみの店舗には時短要請を行っていません。

3-2. コンビニエンスストアのイートインスペースは協力金の交付対象となりますか。

→コンビニエンスストアには時短要請を行っていません。

4. 協力金の交付対象について

4-1. 従前の営業時間が午後8時を越えていないと、協力金の交付対象になりませんか？

→あいスタ認証を受けており、従前より午前5時から午後9時の時間帯を越えて営業している店舗が午後9時までに営業時間を短縮（休業を含む）した場合、または、あいスタ認証を受けておらず、従前より午前5時から午後8時の時間帯を越えて営業している店舗が午後8時までに営業時間を短縮（休業を含む）した場合に協力金の交付対象となります。

なお、対象期間中に「あいスタ認証」を受けた場合、要請の内容が切り替わりますのでご注意ください。

4-2. 従前の営業時間が、午前11時から午後9時までの酒類を提供する名古屋市内の飲食店で、酒類を提供するのを止めて通常営業を続けた場合、協力金の交付対象になりますか。

→酒類の提供を止めただけでは、協力金の交付対象となりません。

4-3. 営業時間短縮要請期間中に定休日が含まれますが、協力金の交付対象となりますか。

→従前より営業時間短縮要請の時間帯を越えて営業しており、営業時間短縮に協力した場合には、定休日も対象となります。

4-4. 営業時間短縮要請期間中、営業時間を短縮できず、午後11時まで営業した日があります。協力金はどのように交付されますか。

→営業時間を短縮できなかった日は交付対象日数に含めることはできません。

4-5. 午後8時（「あいスタ」認証店は「午後9時」）までの営業とはどういう意味でしょうか。

ラストオーダーを午後8時（「あいスタ」認証店は「午後9時」）にすればよいですか。

→午後8時（「あいスタ」認証店は「午後9時」）までにお客様に退店いただき、閉店する必要があります。

5. 第三者認証制度「ニューあいちスタンダード（あいスタ）」と認証ステッカーの掲示について

5-1. 「ニューあいちスタンダード（あいスタ）」とは何ですか。また、認証はどのように行うのですか。

→安全・安心に食事を行っていただくため、第三者により飲食店の感染防止対策をチェックし、十分に対策が講じられている店舗を認証登録する制度です。なお、「ニューあいちスタンダード（あいスタ）」の認証だけでは協力金は交付されません。別途、交付申請が必要になりますので、ご注意ください。

また、今後、飲食店の協力金支給申請には「あいスタ認証」を受けていることが要件となる予定です。お早めに「あいスタ認証」の申請をお願いします。

詳細や登録方法は、以下のページをご覧ください。

- ▶ 「ニューあいちスタンダード」専用ウェブサイト <https://newaista-ninsho.jp/>

5-2. 「安全・安心宣言施設」の登録を行っている飲食店です。今回の申請に「あいスタ」認証とステッカーの掲示がないと協力金の対象にはならないのですか。

→協力金の交付は、業種別のガイドラインの遵守のほか、「ニューあいちスタンダード（あいスタ）」の認証と認証ステッカーの掲示、又は、県の「安全・安心宣言施設」の登録とPRステッカー・ポスターの掲示が必要になります。

そのため、「あいスタ」の認証と認証ステッカーの掲示がなくても、県の「安全・安心宣言施設」の登録とPRステッカー・ポスターの掲示があれば交付対象となります。

なお、「あいスタ認証」の有無により要請内容が異なります。詳細については、パンフレット p.1 を参照してください。

また、今後、飲食店の協力金支給申請には「あいスタ認証」を受けていることが要件となる予定です。お早めに「あいスタ認証」の申請をお願いします。

5-3. 期間中を通して終日休業しますが、認証ステッカーの掲示は必要ですか。

→休業する場合も認証ステッカーの掲示は必要です。

6. 「安全・安心宣言施設」への登録とPRステッカー・ポスターの掲示について

6-1. PRステッカーとポスターの掲示がないと協力金の対象にはならないのですか。

→「あいスタ認証」を受けていない場合、業種別のガイドラインの遵守のほか、県の「安全・安心宣言施設」の登録とPRステッカー・ポスターの掲示が協力金の交付の条件になります。

※「安全・安心宣言施設」の登録だけでは協力金は交付されません。別途、交付申請が必要になりますので、ご注意ください。

6-2. 期間中を通して終日休業しますが、県の「安全・安心宣言施設」の登録、PRステッカー等の掲示は必要ですか。

→休業する場合も県の「安全・安心宣言施設」の登録、PRステッカー等の掲示は必要です。

7. 要請に応じた日数について

7-1. 協力金の交付を受けるには、要請期間の全ての期間において、営業時間の短縮を行う必要がありますか。

→施設ごとに、要請に応じた日数分を交付します。

7-2. 要請対象施設を複数持つ場合は、全ての施設で要請に応じないと協力金は受けられませんか。

→要請対象施設は、全面的に要請にご協力をお願いします。なお、協力金については、協力いただいた施設ごとに要請に応じた日数分を交付します。

8. 協力金支給額について

8-1. 支給額はどのような額となりますか。

→基本的な考え方は、以下のとおりです。

○中小企業者等※1：売上高に応じて2.5万円～7.5万円

○大企業：売上高減少額の4割（最大20万円※2）

※1 大企業と同様、売上高減少額の4割を選択することも可能

※2 20万円 又は 2020年度若しくは2019年度の1日当たり売上高×0.3のいずれか低い額

8-2. 協力金申請額はどのように算出すればよいですか。

→「売上高方式」では、2019年又は2020年の10月のテイクアウトを除く飲食業売上高をもとに算出します。「売上高減少方式」では、これと2021年の10月のテイクアウトを除く飲食業売上高の減少額をもとに算出します。

具体的な算出方法は、パンフレットp.3のチャート図、およびp.13・15の「店舗別申請額計算書」により算出できます。

また、申請サポートサイトに、協力金支給額の試算機能を設けています。

申請サポートサイト：<https://jitan.aichi-kyouryokukin.com/1001>

8-3. 申請書、店舗別申請額計算書の「売上高」欄は税抜となっていますが、売上帳簿や確定申告書は税込で集計しています。どのように算出すればよいですか。

→税抜の売上高が分からない場合は、税込額を1.1で割った金額を用いて算出してください。

8-4. 飲食事業だけでなく、他事業も行っていますが、確定申告書の売上高をもとに算出してもよいですか。

→飲食事業のみの売上高をもって算出してください。テイクアウトの売上も除いてください。

申請にあたっては、確定申告書だけでなく、飲食事業のみの売り上げがわかる売上帳簿を提出することが必要です（複数店舗を申請する場合は、店舗ごとの売上帳簿が必要です）。

なお、売上高方式の下限額（2.5万円/日）での申請となる場合は、売上帳簿の提出は省略可能です。（ただし、営業実態の確認等のため提出を求める場合があります。）

8-5. 2020年の10月2日以降に営業開始した店舗で、「店舗別申請額計算書」による算出が難しい店舗はどうすればよいですか。

→次のとおり算出してください。

① 2020年10月2日以降、2021年9月30日までに開店した店舗

開店日から2021年9月30日までの売上高から算出してください。

なお、中小企業者等だけでなく大企業も、売上高方式か売上高減少方式のどちらかを選択可能です。

② 2021年10月1日以降に開店した店舗

前々年及び前年の売上がないことから、中小企業者等、大企業ともに、売上高方式の下限額（2.5万円/日）で計算してください。

詳細については、パンフレット p.10・11・16・17 を参照してください。

8-6. 地震、風水害、火災等の災害の影響により、2019年、2020年の10月の売上高が減っており、通常期の売上高と乖離がある場合はどうすればよいですか。

→2018年10月の売上高により算出をすることができる特例を設けておりますので、協力金専用コールセンター(052-228-7310)へお問合せください。(申請時に罹災証明書等の提出が必要です。)

9. 提出書類について

9-1. 具体的にどの書類を提出すればよいですか。

→申請の際は、次ページ【提出書類一覧表】の書類を提出していただきます。

また、以下に該当する方は一部省略可能な書類があります。

○売上高方式（下限額）で申請する方

○過去に「愛知県感染防止対策協力金【営業時間短縮要請枠】（2020/12/18～2021/1/11 実施分以降）」の申請実績がある方

申請が次の（ア）～（カ）のどれに該当するか御確認の上、書類を提出してください。

○営業時間短縮要請枠での申請実績がある方

（2020/12/18～2021/1/11 実施分以降）

（ア）	支給実績があり、売上高方式（下限額）で申請
（イ）	支給実績があり、売上高方式（下限額以外）又は売上高減少方式で申請
（ウ）	申請実績はあるが、支給実績がなく売上高方式（下限額）で申請
（エ）	申請実績はあるが、支給実績がなく売上高方式（下限額以外）又は売上高減少方式で申請

○今回初めて申請される方

（オ）	売上高方式（下限額）で申請
（カ）	売上高方式（下限額以外）又は売上高減少方式で申請

【提出書類一覧】

提出書類一覧		申請実績あり				初めて申請	
		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
①申請書	・交付申請書兼請求書	●	●	●	●	●	●
	・交付申請書兼請求書 別紙 (対象となる店舗が1店舗の場合は不要)	○	○	○	○	○	○
	・店舗別申請額計算書	—	●	—	●	—	●
②誓約書	・誓約書	●	●	●	●	●	●
③営業活動を行っている ことが分かる書類	・飲食店営業許可書(証)または 喫茶店営業許可書(証)の写し	省略可※	省略可※	省略可※	省略可※	●	●
	・店舗の内観・外観の写真	—	—	●	●	●	●
④営業時間短縮等の状況 が分かる書類	・営業時間短縮(休業を含む)を周知していることがわかる資料	—	—	●	●	●	●
	・酒類の提供時間の短縮を周知していることがわかる資料 (元から酒類の提供を行っていない場合は不要)	—	—	○	○	○	○
	・カラオケ設備の提供の取り止めに周知していることがわかる資料 (元からカラオケ設備の提供を行っていない場合及び カラオケボックスは不要)	—	—	○	○	○	○
⑤営業活動及び総売上 高・店舗別飲食事業売 上高が分かる書類	・確定申告書の写し	—	●	●	●	●	●
	・売上帳等の帳簿の写し (1店舗のみの申請で、飲食事業のみを行っており、 確定申告書のみで参照月の売上高がわかる場合は省略可)	—	○	—	○	—	○
⑥本人確認書類	・代表者の運転免許証、健康保険証(住所の記載があるもの) またはマイナンバーカード(表面)の写し	省略可※	省略可※	省略可※	省略可※	●	●
⑦振込先口座が 分かる書類	・申請書に記入した口座の通帳の写し	省略可※	省略可※	省略可※	省略可※	●	●

●：必要書類、○：対象であれば提出が必要、—：不要、

省略可※：ただし、過去の申請で提出した書類と記載事項に変更がある場合は、提出が必要

↳ (例) 申請対象施設が増えた場合：増えた施設にかかる営業許可書(証)の写し、店舗の内観・外観の写真及び営業時間短縮等の状況が分かる書類を提出してください。

9-2. 申請書の「営業許可書(証)の番号」欄には、何の番号を書けばよいですか。

→営業許可証の右上、あるいは中段に記載されている「許可番号」を記載してください。(右上と中段に、異なる番号が記載されている場合は、中段にある許可番号を記載してください。)

9-3. 店舗の内観・外観の写真には、何が写っている必要がありますか。

→以下のものが写っているものを提出してください。複数枚提出いただいても構いません。ぼやけている画像や暗い画像など、識別できないものは避けてください。

- ・内観：テーブル・椅子など店内で飲食することが分かるもの、及びメニューなど飲食を提供していることが分かるもの
- ・外観：店名の看板など申請対象の店舗であることが分かるもの、及び店舗の入口

9-4. 確定申告書及び売上帳等の帳簿の写しは、いつのものを提出すればよいですか。

→参照月(支給額の算出に用いた月)が含まれる年の確定申告書の写しと、参照月の日ごとの売上がわかる売上帳等の帳簿の写しを提出してください。

(例)・2019年10月の売上高を用いて、売上高方式により算出した場合

— 令和元年(2019年)分の確定申告書の写しと

2019年10月の日ごとの売上がわかる売上帳等の写し

※なお、下限額(2.5万円/日)での申請となる場合は、売上帳等の提出は省略可能です。(ただし、営業実態の確認等のため提出を求める場合があります)

ます。)

・2020年10月の売上高と、2021年10月の売上高を用いて、売上高減少方式により算出した場合

- － 令和2年(2020年)分の確定申告書の写しと
2020年10月及び2021年10月の日ごとの売上がわかる売上帳等の写し

9-5. 売上帳等の帳簿は、どのような内容が記載されている必要がありますか。

→参照月における、店舗ごとの、飲食事業の売上高が確認できることが必要です。

また、日ごとの売上が記載されており、その合計としての月間売上高が確認できるものとしています。

9-6. 「飲食店営業許可書(証)」「喫茶店営業許可書(証)」の代わりに、別の営業許可証(風営法関係の営業許可証・届出書等)を提出してもよいですか。

→当協力金は、「飲食店営業許可書(証)」又は「喫茶店営業許可書(証)」をもって、飲食店としての実態を確認することとしているため、これらの提出が必須となります。

9-7. 自らの法人番号が分からない場合は、どうすればいいですか。

→国税庁の「法人番号公表サイト」にて、法人名での検索が可能です。

<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>

9-8. 個人事業主の場合、申請書の申請者情報に記載する住所及び誓約書に記載する住所には、施設の住所と本人の住所のどちらを記載すればいいですか。

→どちらも本人の住所(本人確認書類と同じ住所)を記載してください。

9-9. 税務署に確定申告書は提出済みですが、紛失等により控え(写し)がない場合は、どうすればよいですか。

→管轄の税務署にて、「保有個人情報開示請求」により、確定申告書の写しの交付を受け、写しを提出してください。

9-10. 個人事業主の開業又は法人の設立後、申告時期が到来していないため、確定申告書を提出できない事業者は何の書類を提出すればよいですか。

→次の代替書類を両方提出してください。

- ①個人事業主の開業届または法人の法人設立届の控え
- ②営業実績のある直近3か月間の月末締め経理帳簿(現金出納帳、売上帳簿等)

9-11. 税務署に開業届は提出済みだが、紛失してしまった場合はどうすればよいですか。

→管轄の税務署にて、「保有個人情報開示請求」により、開業届の写しの交付を受け、写しを提出してください。

9-12. 確定申告の申告時期未到来の個人事業主で、開業届を提出していない場合は、どうすればよいですか。

→管轄の税務署に開業届を提出した上で、申請書に添付してください。

9-13. 所得税確定申告書が提出できない場合は、代わりに何を提出すればよいですか。(課税所得がない等で確定申告が不要な個人事業主の場合)

→原則、所得税確定申告書の提出が必要です。

ただし、この提出が不可能である場合は、例外的に、「市民税・県民税申告書」を代替書類として提出してください。（ただし、営業等収入が確認できることが必要です。）

10. 他の協力金等の重複支給について

10-1. これまでの営業時間短縮要請に係る協力金の支給を受けた事業者も、今回の協力金の交付対象となりますか。

→交付対象となります。

10-2. 国の月次支援金において、対象月における休業・時短営業の要請に伴う「協力金」の支給対象となる事業者は給付対象外とされていますが、今回の協力金はこれに該当しますか。

→該当します。そのため、当協力金の支給対象となる事業者は、その対象月における月次支援金の支給を受けることはできません。

10-3. 今回の協力金は課税対象となりますか。

→法令に則ると、所得税や法人税の計算上、収入金額や益金に加える必要があるとのことです。

11. 申請サポート窓口について

11-1. 申請サポート窓口とは何ですか。

→申請書の作成や支給額の計算について、対面でサポートいたします。

11-2. 申請サポート窓口は、どこに設置されますか。

→県内に定期窓口を開設しています。（土日祝除く）

詳細は、申請サポートサイトでご案内しています。

申請サポートサイト：<https://jitan.aichi-kyouryokukin.com/1001>

11-3. 申請サポート窓口を利用するにはどうすればよいですか。

→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、完全予約制となります。（予約がない場合はご来場いただけません。）

ご予約は、「協力金専用コールセンター（052-228-7310）」で受け付けます。来場希望日の2営業日前までにお問い合せください。窓口の詳細（会場・日程、予約方法等）についても「協力金専用コールセンター」でご案内しています。